

殿中記事

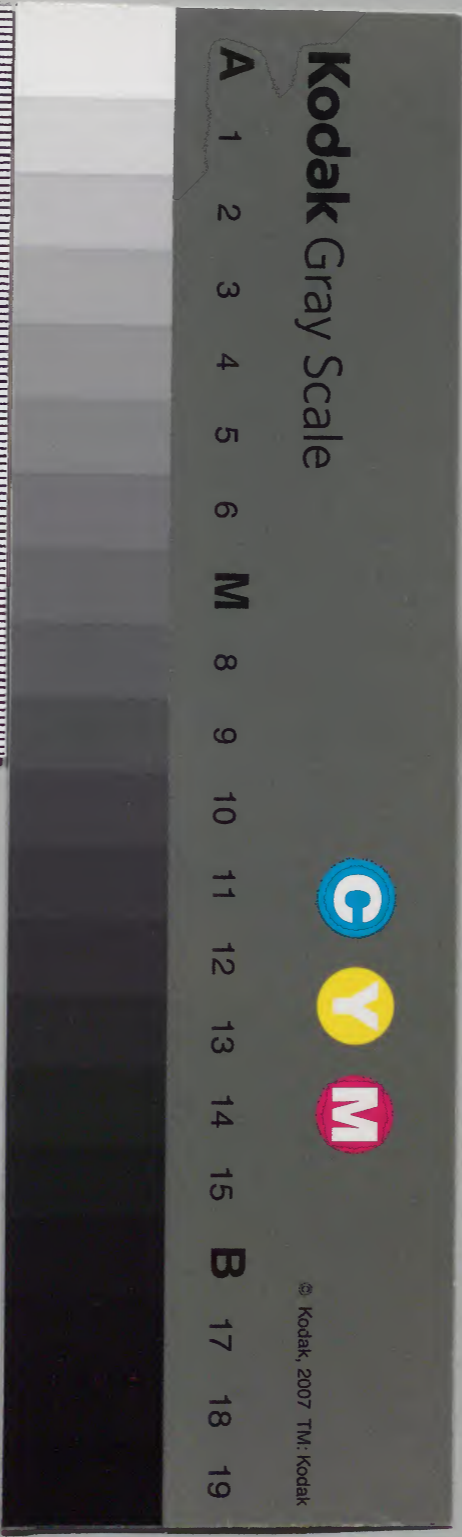
五

和書門			
三二八	二二八	二二八	二二八
一	二	三	四
號	函	架	冊

內閣文庫		
三二八	二二八	二二八
一	七	一
號	冊	架

內閣文庫	
番號	和 32881
冊數	7 (5)
函號	150 154

萬延元年 自閏三月九日 至十二月



国三月九日久世大和守

○右印入用御、御中凡御著請慈意也、且印多用、打柄有紀伊守回不御著後、

中勢大捕及匠屋の御書付

○諸系信也、加つて、御中、勿漏、書付、御座、去等、御書、

○印後、信也、加つて、御書、不業、御、且又一季、抱、御、男、女、

○印後、信也、加つて、御書、不業、御、且又一季、抱、御、男、女、

○印後、信也、加つて、御書、不業、御、且又一季、抱、御、男、女、

○印後、信也、加つて、御書、不業、御、且又一季、抱、御、男、女、

○印後、信也、加つて、御書、不業、御、且又一季、抱、御、男、女、

○印後、信也、加つて、御書、不業、御、且又一季、抱、御、男、女、

○印後、信也、加つて、御書、不業、御、且又一季、抱、御、男、女、

○印後、信也、加つて、御書、不業、御、且又一季、抱、御、男、女、

○印後、信也、加つて、御書、不業、御、且又一季、抱、御、男、女、

出雲守 ○外由申用 松平越前守子爵二十万枚 ○右下

申書情有以使者 同十七日申書付 ○神奈川申用港外由貿易

此に疑ふ申場釋上荷元ノ買ノ由申用港外由申用入申用
荷物申用 諸色柿座申用 諸人細受申用 諸申用 申用 申用 申用

○雜穀 ○申用 ○蠟 ○吳服 ○糸 ○右由 限り交易

申用 申用 申用 申用 申用 申用 申用 申用 申用 申用

申用 申用 申用 申用 申用 申用 申用 申用 申用 申用

申用 申用 申用 申用 申用 申用 申用 申用 申用 申用

同日申書付 ○天文曆算世屋給品申用 天文方申用 天文方申用 天文方申用

同日申書付 ○天文曆算世屋給品申用 天文方申用 天文方申用 天文方申用

同日申書付 ○天文曆算世屋給品申用 天文方申用 天文方申用 天文方申用

同日申書付 ○天文曆算世屋給品申用 天文方申用 天文方申用 天文方申用

同日申書付 ○天文曆算世屋給品申用 天文方申用 天文方申用 天文方申用

同日申書付 ○天文曆算世屋給品申用 天文方申用 天文方申用 天文方申用

同日申書付 ○天文曆算世屋給品申用 天文方申用 天文方申用 天文方申用

八市左方 ○右御西益御記信備
五月廿日 赤坂 半井

山城白限三枚時辰二 ○右中其方家なる初見
○書物等より分りあり
同日

天文 皇立左月金三枚時辰二 ○右中祖父左月外なる伝備
新編其速出来等より分りあり

同日 内書付 杉本後河多時辰三 ○右外西人上陸場若狭有
構自筆起より外建塔不立筆信

同日 内書付 ○大砲 杉本古流者法向も亦あり
お前松ヶ池お建より分りあり

同日 松平左多兼督 ○右出格
一代自為内合力米率より分りあり

同日 稻垣右門 ○宿業少お侍より分りあり
お前内書付書全誤候より分りあり

同日 内書付 ○外由限跡目方七由分より分りあり
其方限三分

通用 標杉限彦松平打候者其際通用之候を限跡不持候居去
十限彦等松平下候下 吉亮米率二月お解並加通用より分りあり
お前より白後右限跡自恒業者其より楊丁限一極合より分りあり
お前より其より分りありお前より分りあり
○法上御より分りあり
お前より分りあり右より通ある月より分りあり通用之候より分りあり

同十五日 内軍體 赤村松屋 ○大由及内軍體標在
敷候方誤候

麟 古市 ○アメリカカ内なるお取り入 御前内通柳
御前より分りあり
同日

水野お前より分りあり 戸塚彦市 杉本道行 赤村榮左方 ○右業御
お前より分りあり
同日

同日 内書付 三芳極 御記等より分りあり

老中始り承結元内書付者及内書付者居 決事預決あり布衣候より

此段入并 御目之似上之御多諸番其合一而 序

此段一 御旗 御所之御 松奥 御旗首一 老中 若年寄 又御

作付一 松平大膳左入 御彈十枚 ○右御中丸御若年寄
上御金 袋係 御旗首 若年寄

圓舟之御 牧野鐵中寄 若年寄 御旗首
少野友五郎 本村御目格アリカキ ○常了
先達之御旗首 若年寄

長門之御名代 ○右宿衛有那由 御旗首 御光
若年寄 御旗首 若年寄 御旗首
若年寄 御旗首 若年寄

御羽織之御 ○右 御旗首 御旗首 御旗首
御旗首 御旗首 御旗首 御旗首

毫磨金之御 御馬代 御馬代 御馬代 御馬代
御馬代 御馬代 御馬代 御馬代

御旗首 ○右若年寄 御旗首 御旗首
御旗首 御旗首 御旗首 御旗首

大和之御 御旗首 御旗首 御旗首 御旗首
御旗首 御旗首 御旗首 御旗首

同日之御 御旗首 御旗首 御旗首 御旗首
御旗首 御旗首 御旗首 御旗首

同日之御 御旗首 御旗首 御旗首 御旗首
御旗首 御旗首 御旗首 御旗首

同日之御 御旗首 御旗首 御旗首 御旗首
御旗首 御旗首 御旗首 御旗首

同日之御 御旗首 御旗首 御旗首 御旗首
御旗首 御旗首 御旗首 御旗首

同日之御 御旗首 御旗首 御旗首 御旗首
御旗首 御旗首 御旗首 御旗首

同日之御 御旗首 御旗首 御旗首 御旗首
御旗首 御旗首 御旗首 御旗首

同日之御 御旗首 御旗首 御旗首 御旗首
御旗首 御旗首 御旗首 御旗首

市物有り

○市物有り 御名代 市物有り ○市物有り 御名代 市物有り

同本下 市書有り

○今被首首 御名代 市書有り ○今被首首 御名代 市書有り

同本下 市書有り

○右被首首 御名代 市書有り ○右被首首 御名代 市書有り

同本下 市書有り

○右被首首 御名代 市書有り ○右被首首 御名代 市書有り

○右被首首 御名代 市書有り ○右被首首 御名代 市書有り

○右被首首 御名代 市書有り ○右被首首 御名代 市書有り

同本下 市書有り

○右被首首 御名代 市書有り ○右被首首 御名代 市書有り

同本下 市書有り

○右被首首 御名代 市書有り ○右被首首 御名代 市書有り

家来 惣訴願文 寫

○井伊家 惣訴願文 寫 ○井伊家 惣訴願文 寫

○井伊家 惣訴願文 寫 ○井伊家 惣訴願文 寫

○井伊家 惣訴願文 寫 ○井伊家 惣訴願文 寫

○井伊家 惣訴願文 寫 ○井伊家 惣訴願文 寫

○井伊家 惣訴願文 寫 ○井伊家 惣訴願文 寫

○井伊家 惣訴願文 寫 ○井伊家 惣訴願文 寫

○井伊家 惣訴願文 寫 ○井伊家 惣訴願文 寫

○井伊家 惣訴願文 寫 ○井伊家 惣訴願文 寫

○至和通官を又○館定通官之又○大元元定又文字より明
三ノ左方年々也ノ七ノ八ノ百ノ年又右ノ通官也以上

七月二日

由書分

○明後甲申西ノミストル也 成ノ別第ノ通官由リノ名也
家来オモテオモカノ名前姓来ノ夫ニ由リ後難シクハオモリ

割人ノ之ハオモカノ西人通官ノ形合ニ平ノ左右ノ由リ行額ノ姓来中御出出
普通通官来ノ向ノ形ノ右後也通官ノ積リノ右ノ積ルカノ由リ

目方石の由リ而シテ是組合兼也場所者一ノ右ノ而シテ右ノ由リ
此ノ通官通官ノ由リ也一ノ右ノ由リ也支取向若川ノ由リ也

右ノ通官通官ノ由リ也 ○通官通官ノ由リ也 ○右ノ由リ也
右ノ由リ也 ○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也

○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也
○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也

天文 山崎金ノ由リ也 金三枚時時二回牌一布ノ金三枚

○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也
○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也

即右 御目見ノ由リ也 同九日英國ノミストル也 成

○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也
○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也

同十二日 西人ノ書翰ノ寫 ○アメリカカニトランセントハリス

○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也
○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也

大君ノ大令也令一 半由優也 半由劣也 半由中

○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也
○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也

同十三日 由書分 ○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也
○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也

井伊為久磨 ○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也
○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也

○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也
○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也 ○右ノ由リ也

○開極通室る又○政和通室之貴平又○元祐通室之貴平又○祥符通室日
 通室日と元室ハ貴平本末又○熙寧元室之貴平又○嘉祐通室日元室之貴平
 元室之貴平又○咸平元室之貴平又○太平通室之貴平又○治平通室日
 元室之貴平又○至道元室之貴平又○本平通室之貴平又○熙寧元室之貴平
 ○唐回通室之貴平又○乾元通室之貴平又○保化元室之貴平又○嘉泰
 通室之貴平又○嘉泰通室之貴平又○嘉熙通室之貴平又○紹興通室之貴平
 本平又○慶元通室之貴平又○淳祐通室之貴平又○景炎通室之貴平又○至大通室
 之貴平又○五珠ハ又○乾祐元室之貴平又○端平元室之貴平又○光武通室之貴平又○大業
 元室之貴平又○周元通室之貴平又○紹興元室之貴平又○唐國通室之貴平又○富壽神室
 之貴平又○右通室之貴平又○文字之通室又○右通室之貴平又○右通室之貴平
 ○佛指孔之通室之貴平又○古語之通室之貴平又○右通室之貴平又○新修之通室之貴平

八月三日 松平修理吉美有 何書字 ○佛代替有 松平修理吉美有

○元何之通室之貴平又○佛代替有 松平修理吉美有 何書字 ○佛代替有 松平修理吉美有

佛代替有 松平修理吉美有 何書字 ○佛代替有 松平修理吉美有
 佛代替有 松平修理吉美有 何書字 ○佛代替有 松平修理吉美有
 佛代替有 松平修理吉美有 何書字 ○佛代替有 松平修理吉美有
 佛代替有 松平修理吉美有 何書字 ○佛代替有 松平修理吉美有
 佛代替有 松平修理吉美有 何書字 ○佛代替有 松平修理吉美有
 佛代替有 松平修理吉美有 何書字 ○佛代替有 松平修理吉美有
 佛代替有 松平修理吉美有 何書字 ○佛代替有 松平修理吉美有
 佛代替有 松平修理吉美有 何書字 ○佛代替有 松平修理吉美有
 佛代替有 松平修理吉美有 何書字 ○佛代替有 松平修理吉美有
 佛代替有 松平修理吉美有 何書字 ○佛代替有 松平修理吉美有
 佛代替有 松平修理吉美有 何書字 ○佛代替有 松平修理吉美有

右書面内者若し或る之儀は極速に 仰越し如き極其速有也
為内者若し或る之儀は極速に 仰越し如き極其速有也
仰越し如き極其速有也
○右書面内者若し或る之儀は極速に 仰越し如き極其速有也

同廿七日 奉 湯 生 入
○右書面内者若し或る之儀は極速に 仰越し如き極其速有也

同廿八日 水戸 前中 御 之 度
○右書面内者若し或る之儀は極速に 仰越し如き極其速有也

同廿九日 水戸 前中 御 之 度
○右書面内者若し或る之儀は極速に 仰越し如き極其速有也

同三十日 水戸 前中 御 之 度
○右書面内者若し或る之儀は極速に 仰越し如き極其速有也

同廿一日 水戸 前中 御 之 度
○右書面内者若し或る之儀は極速に 仰越し如き極其速有也

同廿二日 水戸 前中 御 之 度
○右書面内者若し或る之儀は極速に 仰越し如き極其速有也

同廿三日 水戸 前中 御 之 度
○右書面内者若し或る之儀は極速に 仰越し如き極其速有也

同廿四日 水戸 前中 御 之 度
○右書面内者若し或る之儀は極速に 仰越し如き極其速有也

同廿五日 水戸 前中 御 之 度
○右書面内者若し或る之儀は極速に 仰越し如き極其速有也

同廿六日 水戸 前中 御 之 度
○右書面内者若し或る之儀は極速に 仰越し如き極其速有也

同廿七日 水戸 前中 御 之 度
○右書面内者若し或る之儀は極速に 仰越し如き極其速有也

同廿八日 水戸 前中 御 之 度
○右書面内者若し或る之儀は極速に 仰越し如き極其速有也

同廿九日 水戸 前中 御 之 度
○右書面内者若し或る之儀は極速に 仰越し如き極其速有也

同三十日 水戸 前中 御 之 度
○右書面内者若し或る之儀は極速に 仰越し如き極其速有也

同廿一日 水戸 前中 御 之 度
○右書面内者若し或る之儀は極速に 仰越し如き極其速有也

同廿二日 水戸 前中 御 之 度
○右書面内者若し或る之儀は極速に 仰越し如き極其速有也

同廿三日 水戸 前中 御 之 度
○右書面内者若し或る之儀は極速に 仰越し如き極其速有也

同廿四日 水戸 前中 御 之 度
○右書面内者若し或る之儀は極速に 仰越し如き極其速有也

同廿五日 水戸 前中 御 之 度
○右書面内者若し或る之儀は極速に 仰越し如き極其速有也

別紙書面

謹此書言上... ○方今... ○方今...

名物一付... 實に累卵の危を去る根元外... 懇々誠意を賜共高恩... 御幸御座候事...

御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事...

御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事...

御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事...

御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事...

御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事...

御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事...

書言付

御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事... 御座候事...

出ありし未便引上り付園ハ初造中造末造各船並由申幸上方海及
船成りありし者ハ引候米穀言事ハ執事御用進出仕及造法因
所造之支路ハ既孔子ノ由申言古減中言所造了然ハ初造末造各
舟ノ方格是直一連也由所造者改方申付若造造之造時ハ
之者中勿偏其如ハ修入直修時上急受申付申付申付申付申付申付
右ノ取捨也ハ由神社此ノ社此也
○十月十日 戸田采女 時股十

御雜覽

○其方格并家政向格別ハ由所造之支路ハ既孔子ノ由申言古減中言所造了然ハ初造末造各
舟ノ方格是直一連也由所造者改方申付若造造之造時ハ之者中勿偏其如ハ修入直修時上急受申付申付申付申付申付申付

連 上向如一修一事

戸田丸ノ御雜織三

○右向織の事隱居云

向格別ハ由所造之支路ハ既孔子ノ由申言古減中言所造了然ハ初造末造各舟ノ方格是直一連也由所造者改方申付若造造之造時ハ之者中勿偏其如ハ修入直修時上急受申付申付申付申付申付申付
思申方格并家政向格別ハ由所造之支路ハ既孔子ノ由申言古減中言所造了然ハ初造末造各舟ノ方格是直一連也由所造者改方申付若造造之造時ハ之者中勿偏其如ハ修入直修時上急受申付申付申付申付申付申付

同日 同舟二

駿河 御舟

瀬之計 時股二

○右先租物取

同日 系担丹後 金十枚 時股之 御雜織

○右中佛君

宣下 官事 御舟

同日 由書付

○由由丸由書付進

并與表請紙本且ハ由所造之支路ハ既孔子ノ由申言古減中言所造了然ハ初造末造各舟ノ方格是直一連也由所造者改方申付若造造之造時ハ之者中勿偏其如ハ修入直修時上急受申付申付申付申付申付申付

同九日 松平隠岐

西向極額由所造之支路ハ既孔子ノ由申言古減中言所造了然ハ初造末造各舟ノ方格是直一連也由所造者改方申付若造造之造時ハ之者中勿偏其如ハ修入直修時上急受申付申付申付申付申付申付

同日 廣大院極

市込舎 市五裁 於増上 市物り有

○市高日 市五裁 於増上 市物り有

市用柳古社より 水物迄 市物り有

同十下 市達

○市高日 市五裁 於増上 市物り有

市物り有 市五裁 於増上 市物り有

同十下 市達

長連川 市五裁

益田 遇所

博股二

○右外由、市五裁、市五章彫刻

市書付

○市高日 市五裁 於増上 市物り有

市物り有 市五裁 於増上 市物り有

市物り有 市五裁 於増上 市物り有

市物り有 市五裁 於増上 市物り有

市物り有

同十下 市達

○市高日 市五裁 於増上 市物り有

上 枚

式部大博 茂憲白限三十枚 卷相五 市了二 市刀

○右、市五裁、市五章彫刻

市五頂裁 市刀

市刀 市五章彫刻

市刀 市五章彫刻

同日 久世

大和 市刀 市五章彫刻

市刀 市五章彫刻

市刀 市五章彫刻

市刀 市五章彫刻

若幸

牧野 遠行 市刀

市刀 市五章彫刻

遠友 但馬 市刀

市刀 市五章彫刻

○右 市五裁、市五章彫刻

市五頂裁 市刀

同日 尾張 市五章彫刻

○右 市五裁、市五章彫刻

市五頂裁 市刀

市刀 市五章彫刻

尾張 市五裁、市五章彫刻

市刀 市五章彫刻

市刀 市五章彫刻

市物り有 市五裁 於増上 市物り有

同十下 市達

市刀 市五章彫刻

大槻 俊 市刀

右の二番目迄五種瘡不
改元云 伊賀

同升八日 尾張及 成徳軍人云 伊賀院

○右の情事あり
別紙に書かん

同升九日 伊賀

○伊賀のり 伊賀のり 伊賀のり
○伊賀のり 伊賀のり 伊賀のり

伊賀院 伊賀院 伊賀院
○伊賀院 伊賀院 伊賀院

伊賀院 伊賀院 伊賀院
○伊賀院 伊賀院 伊賀院

伊賀院

伊賀院 伊賀院 伊賀院
○伊賀院 伊賀院 伊賀院

伊賀院

伊賀院 伊賀院 伊賀院
○伊賀院 伊賀院 伊賀院

伊賀院 伊賀院 伊賀院
○伊賀院 伊賀院 伊賀院

伊賀院

伊賀院 伊賀院 伊賀院
○伊賀院 伊賀院 伊賀院

伊賀院 伊賀院 伊賀院
○伊賀院 伊賀院 伊賀院

伊賀院

伊賀院 伊賀院 伊賀院
○伊賀院 伊賀院 伊賀院

伊賀院 伊賀院 伊賀院
○伊賀院 伊賀院 伊賀院

伊賀院

伊賀院 伊賀院 伊賀院
○伊賀院 伊賀院 伊賀院

伊賀院

伊賀院 伊賀院 伊賀院
○伊賀院 伊賀院 伊賀院

伊賀院 伊賀院 伊賀院
○伊賀院 伊賀院 伊賀院

伊賀院

伊賀院 伊賀院 伊賀院
○伊賀院 伊賀院 伊賀院

伊賀院 伊賀院 伊賀院
○伊賀院 伊賀院 伊賀院

伊賀院 伊賀院 伊賀院
○伊賀院 伊賀院 伊賀院

伊賀院 伊賀院 伊賀院
○伊賀院 伊賀院 伊賀院

伊賀院 伊賀院 伊賀院
○伊賀院 伊賀院 伊賀院

火而先一白... 大造... 火而有一白... 初... 中... 右... 左... 中... 右... 左... 中... 右... 左...

堀織... 全... 右... 左...

御移... 初... 中... 右... 左...

回十日...

御初丸... 中... 右... 左...

先尊の御通ひ
右通ひの御通ひ

○十月十日 伊豆後佐木綱之為所被儀也

出仕有ハ所之系方ハ二様ナド又ハ是上ノ一石以上 所被代

兼者初之有ハ 伊豆ノ所 卍巻 久世天和寺 所被十日友

紀伊守 所被七日 若自 牧野道行等 若友俱有 所被云

○右所被修馬用 若友等ハ一
○十月十日 服坂中勢太輔 ○若友等ハ所被 伊豆ノ所被 若友等ハ一

戸田 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被

○十月十日 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被

○十月十日 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被

○十月十日 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被

○十月十日 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被

○十月十日 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被

○十月十日 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被

○十月十日 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被

○十月十日 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被

○十月十日 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被

○十月十日 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被 所被

同日八日堀田藩之懸 佐倉 御馳院 ○右 御本丸内善信
有上御金付如松我羅子一及及承子速立而之松我
三千本等上御用之申付有以 是日申上

尾張及 竹腰之戸か情、附殿十五限五枚珍木申付
家至

御川豊信等、附彼十限五枚
○右 御本丸 由善信 分上
松我出方之變格別情入奏者

招平哉中旨付後之任 百人組 酒井仁之助

○右 御本丸 由善信 分上
松我出方之變格別情入奏者

竹腰之部か情、御馳院 珍木申付、御馳院

一懸 ○右 御本丸 由善信 分上
松我出方之變格別情入奏者

聖書付

○右 御本丸 由善信 分上
松我出方之變格別情入奏者

○右 御本丸 由善信 分上
松我出方之變格別情入奏者

○右 御本丸 由善信 分上
松我出方之變格別情入奏者

○右 御本丸 由善信 分上
松我出方之變格別情入奏者

同日十三日増上等方丈、時殿二重
○右 御本丸 由善信 分上
松我出方之變格別情入奏者

同日十五日中 久世大和守

一石在御加増 御刀 内友紀伊守 一石在村替 御刀

代金三枚 若手 牧野遠江守 御刀 大和守 遠友但馬守

石村時勢 御刀 傷み寄御光 内例御用 平島丹波守 二石

加増時勢七 上日 坪内伊豆守 石御加増時勢七奉

御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七

御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七

御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七

御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七

御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七

御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七

御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七

御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七

御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七

御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七

御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七

御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七

御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七

御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七

御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七 御加増時勢七

松平美濃守 ○抄格一以 且百中將之任 松平少将守 右

在平抄別一内筋目有別格一 皇元松平四郎一拾月改出仕一

信守 信守 嫡子一兼平 神一 御目元光 換一者一 御白書院

御礼月以平 御目元光 御目元光 御目元光 御目元光 御目元光

御一帝 御目元光 御目元光 御目元光 御目元光 御目元光

古林守 ○右末三月二日御礼 松平之度頭 ○右末三月二日 御信守

松平肥守 松平美濃守 ○以 皇元松平三平 大坂御

松平豊守 加判一列一 信守之任 信守 古社 松平

伯耆守 ○大坂御代 内妻考 牧野越中守 ○右末三月二日 加判一列一 信守

因睡 新志 渡河守 何書寫 ○先妻言 内筋一 御目元光 御目元光

糧着 始末有 一 祝中一 皇元松平三平 御目元光 御目元光

陳下宿 宿方一 區區 住居 御目元光 御目元光 御目元光

御今 今一 御目元光 御目元光 御目元光 御目元光 御目元光

灰着 始末 住居 御目元光 御目元光 御目元光 御目元光

社區 山伏 御目元光 御目元光 御目元光 御目元光 御目元光

判物 加入 御目元光 御目元光 御目元光 御目元光 御目元光

信守 借更 夜方 陣守 御目元光 御目元光 御目元光 御目元光

御目元光 御目元光 御目元光 御目元光 御目元光 御目元光

御目元光 御目元光 御目元光 御目元光 御目元光 御目元光

御目元光 御目元光 御目元光 御目元光 御目元光 御目元光

此方了是とあるは私
に仕奉

京都表佛救

○宗新氏救助之事云
思言別世奉困窮之事

其上諸色佛勝下々々法施之り候云 用古民十國之申下民一
困之形其罪在朕と日夜 申痛心と為候。且今及 和宗古師組

古及結了候も天下奉平云 思言候一候佛自元黃金五十枚

宗新氏了事に佛机り候云候御事云々 之も一候配分若あり申云々

申遣云々加部考 皇國中候事有る海子別る山城由り佛勝云々

及民一困窮云々 思言御捨差有る山城由り申云々救を候候云々

思言 け者云々御事云々



